

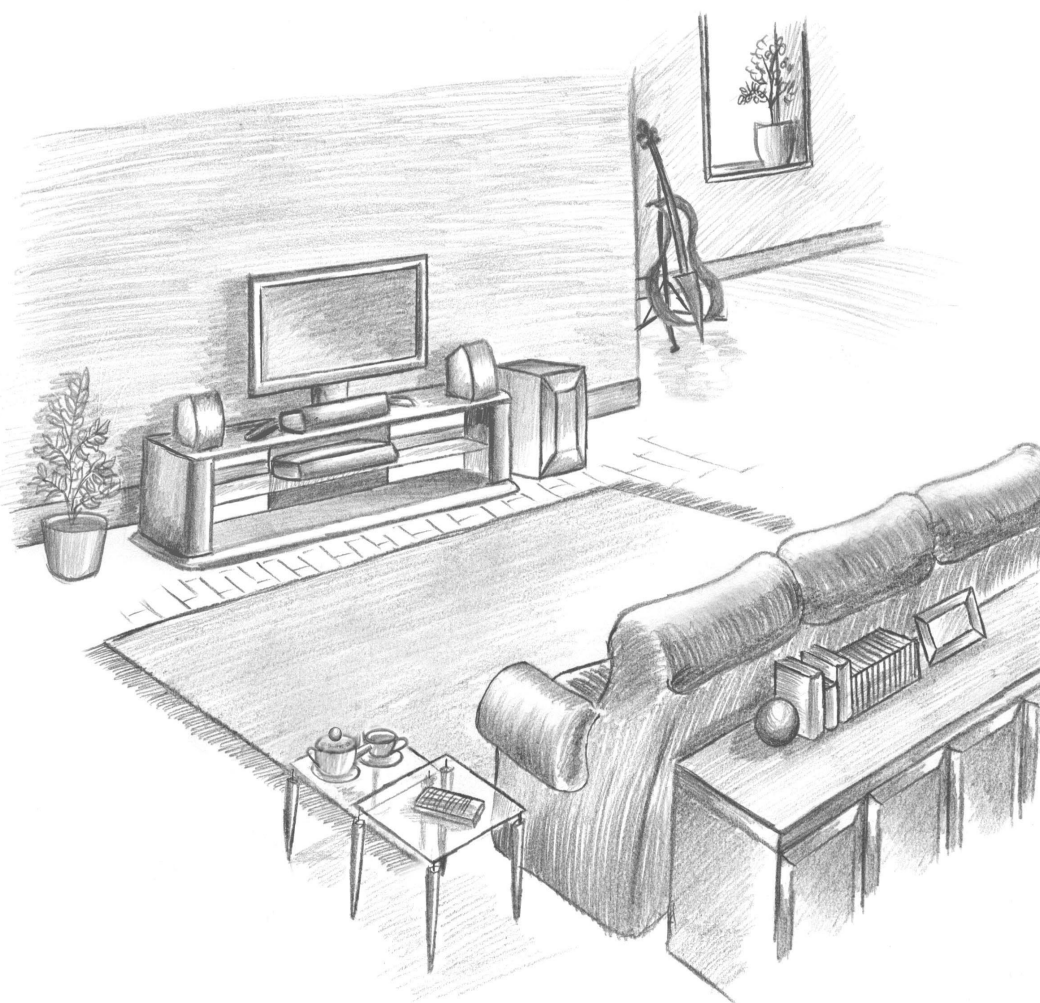


サテライトスピーカー / センタースピーカー / サブウーファー

NX-P150

(NX-S150 + NX-C150 + NX-SW150)

CinemaStation



取扱説明書

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例



気をつけなければならない
内容を表しています。
たとえば ⚠ は、「感電注意」
を示しています。



してはいけない行為を表して
います。
たとえば ❶ は、「分解禁止」
を示しています。



必ずしなければならない
行為を表しています。
たとえば ㊦ は、「電源
プラグをコンセントから
抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・異常なおいや音ができる。・煙が出る。
- ・内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- ・重いものを上に載せない。・ステابلで止めない。・加工をしない。
- ・熱器具には近づけない。・無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- ・浴室・台所・海岸・水辺
- ・加湿器を過度にきかせた部屋
- ・雨や雪、水がかかるところ

水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



注意

長時間使用したとき、本機が発熱して高温になることがあります。

高温になったときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- ・布やテーブルクロスをかけない。
 - ・あおむけや横倒しには設置しない。
 - ・通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- 本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

必ずAC100V (50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうソクなどを置かない。

- ・水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- ・サブウーファーの振動によりものが落下してけがの原因となります。
- ・接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



必ず行う

スピーカーケーブルは必ず壁等に固定する。

ケーブルに足や手を引っかけるとスピーカーが転落・落下し、故障したり、けがの原因となります。



必ず行う

取付け後は必ず安全性を確認する。

また、定期的に落下の可能性がないか安全点検を実施してください。
取付け箇所、取付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには、本機(または接続機器)の電源スイッチを切り、すべての接続をはずす。

- ・接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- ・コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグは確実にコンセントに根もとまで差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆりみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



禁止

持ち運ぶときにはサブウーファースの前面のネットに手をかけない。

ネットが破れたり、本機を落としたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

サブウーファースのすぐ前には割れやすいものなどを置かない。

サブウーファースからの空気圧により倒れたり落ちたりして、けがの原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

フロント及びサラウンドスピーカーを設置する際は、以下のことに注意する。

- 壁に取り付ける場合、くぎなどの抜けやすいものは絶対に使用しないでください。
- 薄いベニヤ板の壁や柔らかい壁には取り付けしないでください。
- 壁や天井に取り付ける場合、必ず指定されたスピーカーブラケット(取付金具)を使用してください。正しい取付け方をしないと、スピーカーが落下して、けがの原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

センタースピーカーを設置する際には、付属の固定テープを使用して確実に固定する。

固定テープを貼る場所のほこりやよごれを取り除いてください。また、固定テープの粘着面に触れないでください。粘着力の低下により、スピーカーが落ちて、けがの原因となることがあります。



禁止

センタースピーカーを設置する際には、スピーカーの底面積より狭い場所や傾斜のある場所には設置しない。

スピーカーが落ちて、けがの原因となることがあります。



必ず行う

スピーカーとスピーカーブラケット(取付金具)・スピーカースタンドは必ず指定されたネジを使用して固定する。

スピーカーが落ちたりすると、けがの原因となることがあります。



プラグを抜く

移動する場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、接続コードを外してから行ってください。

落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

本機に乗ったり、ぶら下がったり、寄りかかったりしない。

転倒したり破損したりして、けがの原因となることがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



必ず行う

重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行う。

けがの原因となることがあります。

目次

はじめに	2
本書の記載について	2
付属品を確認する	2
各スピーカーの役割と設置場所	3
スピーカーを設置する	4
センタースピーカーを設置する	4
サブウーファーを設置する	4
フロント/サラウンドスピーカーを 設置する	5
故障かな?と思ったら	8
主な仕様	9
ヤマハホットラインサービスネットワーク	裏表紙

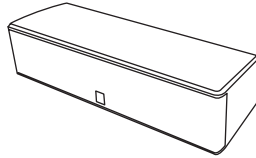
はじめに

NX-P150 はサテライトスピーカー（フロント / サラウンド）4 台、センタースピーカー 1 台、サブウーファー 1 台で構成されています。目的に応じたご使用方法で臨場感あるサウンド空間をお楽しみください。

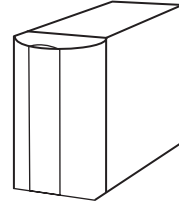
サテライトスピーカー
（フロント / サラウンド）
NX-S150（4 台）



センタースピーカー
NX-C150（1 台）



サブウーファー
NX-SW150（1 台）



本書の記載について

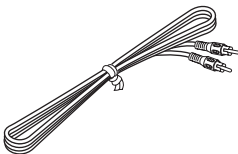
- ・本書はヤマハ サテライトスピーカー / センタースピーカー / サブウーファー NX-P150 の設置方法や仕様について説明しています。ヤマハシネマステーションとの接続方法についてはシネマステーションに付属している取扱説明書を参照ください。
- ・本書は製品の生産に先がけて作成されたものです。製品改良などの理由で実際の製品や梱包箱と内容が一部異なる場合がございますので、ご了承ください。

付属品を確認する

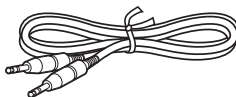
NX-P150 には、接続ケーブルやスピーカーを設置するための部品が付属しています。スピーカーを設置する前に、すべての付属品がそろっていることをご確認ください。

接続ケーブルと設置部品

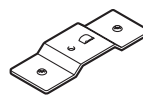
サブウーファー用ピンケーブル
（1ピン、5 m、1本）



システム接続ケーブル
（5 m、1本）



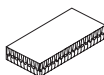
取付金具
（フロント / サラウンド
スピーカー用、4個）



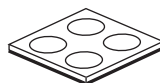
ネジ（M4x10）
（フロント / サラウンド
スピーカー用、4個）



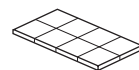
固定テープ
（センタースピーカー用、
2 個）



滑止パッド
（サブウーファー用、
1 セット：4 個）

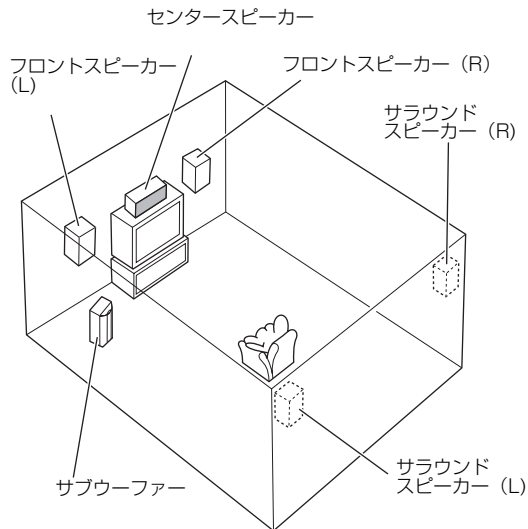


滑止パッド（フロント /
サラウンドスピーカー用、
2 セット：16 個）



各スピーカーの役割と設置場所

スピーカーは出力する音声によりそれぞれ役割が異なります。以下は各スピーカーの主な役割とおすすめする設置例です。



センタースピーカー

テレビの上やテレビブラック内などテレビやモニターの中心線上に設置します。
主に会話やボーカルなど画面中央に定位する音を出します。

フロントスピーカー (L、R)

テレビを中心に、左右に同じ距離で設置します。
主にフロントチャンネル（ステレオ）の音と効果音を出力します。

サラウンドスピーカー (L、R)

視聴位置の斜め後方で、視聴するときの耳の高さ（壁に掛ける場合、高さ約 1.5 ～ 1.8m の位置）に設置するのが理想的です。
主にサラウンド音と効果音を出力します。

サブウーファー

左右どちらか前方の壁側に設置します。壁の反射を防ぐため、少し内側に向けて設置してください。
主に低音を強調して出力します。またドルビーデジタル音声など LFE 信号（低域増強信号）を含む音源を正確に再現することができます。

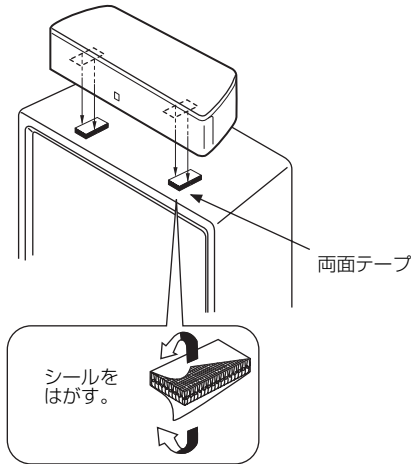
ご注意

- ・ テレビやモニターの映像が乱れる場合は、スピーカーをテレビやモニターから離して設置してください。
- ・ サブウーファーが出力する低音の聴こえ方は、視聴する位置とサブウーファーの設置位置の両方に影響されます。視聴する位置に応じて、設置位置をいろいろ変えてお試しください。

スピーカーを設置する

臨場感あるサウンドを十分にお楽しみいただくためには、スピーカーを安定した場所に適切に設置する必要があります。スピーカーの設置場所を決定後、以下の方法で各スピーカーを設置してください。

センタースピーカーを設置する

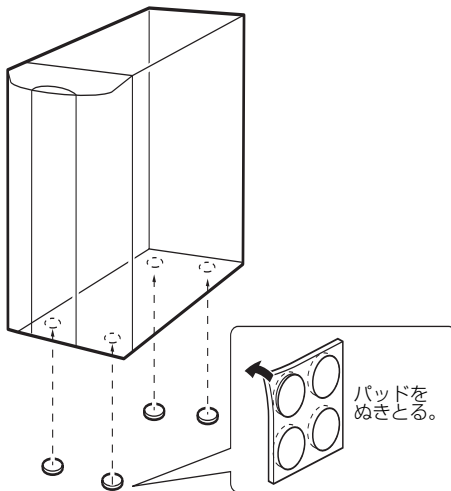


テレビの上に設置する場合は、左図のように付属の固定テープ（2個）をテレビの上面に貼り、スピーカーを固定します。

ご注意

- ・ テレビの上面が傾斜している場合や面積がスピーカーの底面よりも狭い場合は、テレビの上面には設置しないでください。スピーカーが落下する原因になります。
- ・ 固定テープのシールをはがした後は、接着面にはさわらないでください。テープの接着力が弱まり、スピーカーが落下する原因になります。
- ・ 固定テープを貼る前に、テレビの上面をきれいに拭いてください。表面が汚れていたり、濡れていたりすると、テープの接着力が弱まり、スピーカーが落下する原因になります。

サブウーファーを設置する



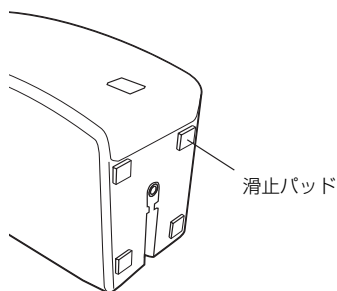
図のように付属の滑止パッドをサブウーファー底面の4隅に貼り付け、固く水平な床の上などに設置します。

- ・ 滑止パッドはサブウーファーの振動による位置ずれを防ぎます。また安定性が増すことにより、音質劣化を防ぐ効果もあります。

フロント / サラウンドスピーカーを設置する

フロント / サラウンドスピーカーは床やラックの上に置いたり、壁に取り付けることができます。また別売の取付けキットやスタンドを使用すると、天井に取り付けたりスタンドで立てることもできます。お部屋の状況に応じて、お好みの設置方法をお選びください。

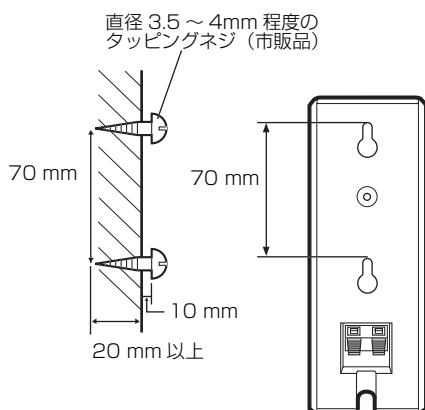
■ 床やラックなどの上に設置する



図のように付属の滑止パッドをスピーカー底面の4隅に貼り付け、水平な床の上などに設置します。

・滑止パッドはスピーカーの振動による位置ずれを防ぎます。また安定性が増すことにより、音質劣化を防ぐ効果もあります。

■ 壁に取り付ける



市販のタッピングネジ（直径 3.5 ～ 4mm、長さ 20mm 以上）を使用して、スピーカーを壁に取り付けることができます。スピーカー 1 台につき必要なタッピングネジは 2 本です。（フロント / サラウンドスピーカーを壁に取り付けるには、8 本のタッピングネジが必要になります。）

- ① スピーカーを掛ける場所に、左図のように 2 本のタッピングネジを取り付けます。
- ② スピーカー背面の穴をタッピングネジの頭にあわせ、穴の狭い部分にタッピングネジが引っ掛かるようにスピーカーを取り付けます。

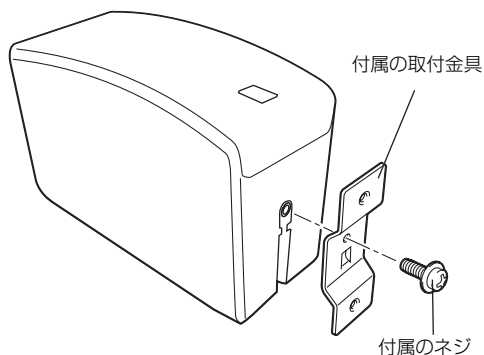
ご注意

- ・スピーカー 1 台の質量は約 0.9kg です。タッピングネジを壁や柱に取り付ける際には、強固な材質でできている場所をお選びください。モルタルや化粧ベニヤ板など、はがれやすい材質の壁に取り付けると、ネジが抜けてスピーカーが落下する原因になります。
- ・スピーカーを取り付ける際は、必ず指定サイズのタッピングネジをご使用ください。釘や両面テープなどを使用すると、使用中の振動で釘が抜けたり両面テープがはがれて、スピーカーが落下する原因になります。
- ・スピーカーを接続する際は、スピーカーケーブルを必ず固定してください。誤って手足に引っ掛かると、スピーカーが落下する原因になります。
- ・スピーカーを設置後、各スピーカーが確実に固定されていることをご確認ください。取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

■ 天井に取り付ける

別売のスピーカーブラケット（SPM-8S）を使用して、スピーカーを天井に取り付けることができます。フロント／サラウンドスピーカーを天井に取り付けるには、スピーカーブラケット（SPM-8S）4個と市販のタッピングネジ（直径 3.5 ～ 4mm、長さ 20mm 以上）等が必要になります。

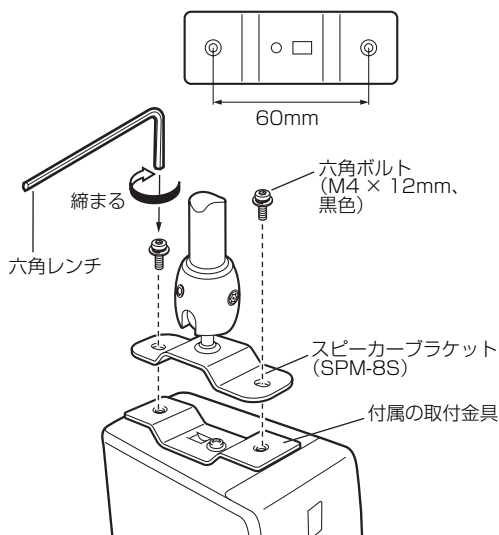
取り付け作業を行う際には、スピーカーブラケットに付属の取扱説明書や取付注意書を本書とあわせてご参照ください。



1

本機に付属のネジを使用して、付属の取付金具をスピーカー底面に取り付けます。

金具の凸部分がスピーカー底面の溝におさまるように取り付けてください。



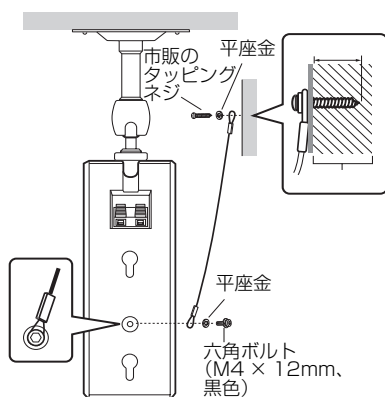
2

スピーカーブラケットに付属の六角ボルトを使用して、スピーカーブラケットを取付金具に取り付けます。

スピーカーブラケットに付属の六角レンチを使用して六角ボルトを固定してください。

3

スピーカーブラケットに付属の取扱説明書に従って、スピーカーブラケットを天井（壁）へ取り付けます。



4

スピーカーブラケットに市販の六角ボルトと付属の平座金を使用して、安全ワイヤーの片側をスピーカーに取り付けます。

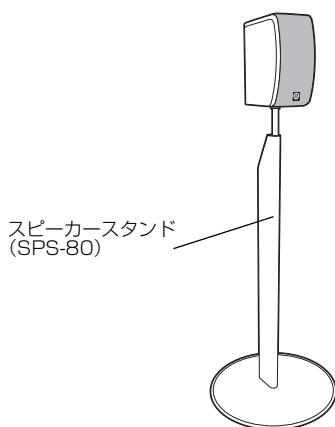
5

市販のタッピングネジを使用して、安全ワイヤーの逆側を天井や壁などしっかりした場所に取り付けます。

ご注意

- ・ スピーカー 1 台の質量は約 0.9kg です。スピーカーブラケットやタッピングネジを天井や壁に取り付ける際には、強固な材質でできている場所をお選びください。**モルタルや化粧ベニア板など、はがれやすい材質の天井や壁に取り付けると、スピーカーが落下する原因になります。**
- ・ スピーカーを取り付ける際は、必ず決められた部品をご使用ください。仕様が合わない部品を使用すると、使用中の振動でネジなどが抜けて、スピーカーが落下する原因になります。
- ・ スピーカーを接続する際は、スピーカーケーブルを必ず固定してください。誤って手足に引っ掛かると、スピーカーが落下する原因になります。
- ・ スピーカーを設置後、各スピーカーが確実に固定されていることをご確認ください。取り付け場所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、当社では一切負いかねますのでご了承ください。

■ スピーカースタンドに取り付ける



別売のスピーカースタンド (SPS-80 : 2 台 1 組) を使用して、スピーカーをスタンドに取り付けることができます。フロント/サラウンドスピーカーをスタンドに取り付けるには、スピーカースタンド (SPS-80) 2 組が必要になります。

取り付け作業を行う際には、スピーカースタンドに付属の取扱説明書をご参照ください。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。対処しても正常に作動しない、または下記以外で異常が認められた場合は、サブウーファースの電源プラグを抜いて、お買上店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。

現象	原因	解決方法
すべてのスピーカーから音が出ない	音量が最小になっていませんか？	接続している AV 機器で音量を調節してください。
	消音機能（MUTE）を使用していますか？	接続している AV 機器で消音機能（MUTE）を解除してください。
	入力ソースを正しく選択していますか？	接続している AV 機器で正しい入力を設定してください。
	ケーブルが正しく接続されていますか？	各ケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
特定のスピーカーから音が出ない	スピーカーは出力する音声によりそれぞれ役割が異なるため、再生音によっては一部のスピーカーから音声が出力されない場合があります。	詳しくは「各スピーカーの役割と設置場所」（3 ページ）をご参照ください。
	接続した AV 機器のスピーカー設定や再生モードなどにより、一部のスピーカーから音声が出力されない場合があります。	詳しくは接続している AV 機器に付属の取扱説明書をご参照ください。
	スピーカーの音量が最小になっていませんか？	接続している AV 機器で該当スピーカーの音量を調節してください。
	ケーブルが正しく接続されていますか？	該当スピーカーのケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
サブウーファースの音が良くない	サブウーファースが正しい向きで設置されていますか？	詳しくは「各スピーカーの役割と設置場所」（3 ページ）をご参照ください。
	ピンケーブルが正しく接続されていますか？	ピンケーブルが正しく接続されているかご確認ください。
低音が出ない / または小さい	低音域が少ないソースを再生していませんか？	低音域が多いソースを再生してください。

主な仕様

サテライトスピーカー（フロント/サラウンド）

・ 型名	NX-S150
・ ユニット	5cm コーン型フルレンジ（防磁）× 2
・ 定格入力	30W
・ 最大入力	100W
・ 再生周波数帯域	100Hz ~ 25kHz(- 10dB)
・ 出力音圧レベル	86dB/2.83V、1m
・ 外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	72 × 170 × 108mm
・ 質量	0.9kg

センタースピーカー

・ 型名	NX-C150
・ ユニット	5cm コーン型フルレンジ（防磁）× 2
・ 定格入力	30W
・ 最大入力	100W
・ 再生周波数帯域	100Hz ~ 25kHz(- 10dB)
・ 出力音圧レベル	86dB/2.83V、1m
・ 外形寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	300 × 72 × 105mm
・ 質量	1.1kg

サブウーファー

・ 型名	NX-SW150
・ ユニット	アドバンスドヤマハアクティブサーボテクノロジー方式 16cm コーン型ウーファー（防磁）
・ 出力（100Hz、5Ω、10%THD）	50W
・ 再生周波数帯域	30Hz ~ 200Hz
・ 入力インピーダンス	INPUT、12kΩ
・ 電源	AC100V、50/60Hz
・ 消費電力	25W
・ 寸法（幅 × 高さ × 奥行き）	200 × 365 × 390mm
・ 質量	8.4kg

総合

・ 動作温度範囲	+ 5 ~ + 35 ℃
・ 動作湿度範囲	5 ~ 90% (結露しないこと)

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



サブウーファー（NX-SW150）は豊かな重低音を再生する、アドバンスドヤマハアクティブサーボテクノロジーを搭載しています。

本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当あたりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● ヤマハ電気音響製品サービス拠点

北海道 〒 064-8543 札幌市中央区南十条西 1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒 984-0015 仙台市若林区卸町 5-7
仙台卸商共同配送センター 3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒 143-0006 東京都大田区平和島 2 丁目 1 番 1 号
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒 435-0016 浜松市和田町 200 ヤマハ (株) 和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒 454-0058 名古屋市中川区玉川町 2-1-2
ヤマハ (株) 名古屋流通センター 3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒 565-0803 吹田市新芦屋下 1-16 ヤマハ (株) 千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

四国 〒 760-0029 高松市丸亀町 8-7
(株) ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒 812-8508 福岡市博多区博多駅前 2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

● 保証期間

お買い上げ日より 1 年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 8 年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品 (下記参照) が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。

愛情点検



★ 永年ご使用の製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは、お客様ご相談センターにご連絡ください。

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

.....
携帯電話、PHS からは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 3459

住所 〒 430-8650 静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

ヤマハ株式会社

〒 430-8650 浜松市中沢町 10-1